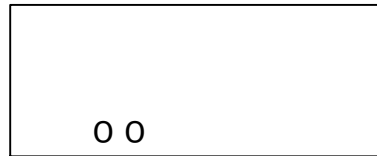
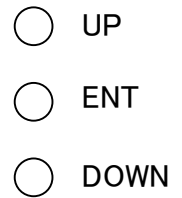


### ID設定(確認)

- 1 UP及びDOWNスイッチを同時に押し離すとIDが画面左下に表示されます。  
(スイッチは瞬間Pushではなく、カッチンと確実に押してください。)
- 2 UPとDOWNのスイッチでIDを設定してください。  
ID=00にするとデータ通信時にIDの指定が省略可能になります。
- 3 ENTで確定、保存されID設定モードが終了します。



<ID表示>

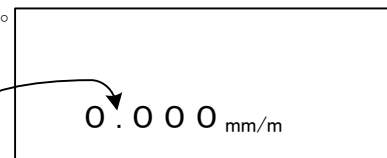
<左側面のスイッチ>

### 計測モード設定

ENTスイッチを長押しすると自動計測とマニュアル計測を切替できます。

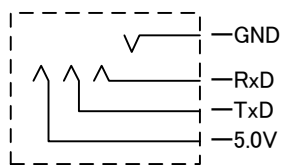
自動計測時は0.5秒毎に計測を繰り返し、数値の小数点が点滅します。  
マニュアル計測時はENTスイッチのPush、あるいはデータ通信のリクエストコマンドで計測します。

自動計測時は点滅

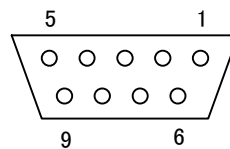


<自動計測/マニュアル計測>

### PINアサイン



<φ3.5 4P>



<Option D-SUB9S>

- 2 : TxD    1,4,6~9 : NC
- 3 : RxD
- 5 : GND

## 通信フォーマット

通信速度 : 9600bps  
スタートビット : 1  
パリティ : なし

データ長 : 8bit  
ストップビット : 1  
フロー制御 : なし

## データフォーマット

文字コード : ASCIIコード      デリミタ : CR+LF  
数値のバイナリデータは文字に変換したASCIIコードで送信されます。

### 傾き及び温度データ

data RQ(Level&Tmp\_RQ)

1 2 3 4 5 6 7      ->データ要求送信バイト  
0 3 R D B CR LF      ->データ内容

id1 id0

//IDは'00'の場合省略可能

応答(Level&Tmp\_ACK)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13      ->データ応答送信バイト  
- 1 . 2 3 4 SP 2 1 . 0 CR LF      ->例1: 傾き値-1.234 温度21.0°C  
SP 0 . 0 0 8 SP 0 8 . 9 CR LF      ->例2: 傾き値 0.008 温度 8.9°C

### 傾きデータ

data RQ(LevelRQ)

1 2 3 4 5 6 7      ->データ要求送信バイト  
0 3 R D M CR LF      ->データ内容

id1 id0

//IDは'00'の場合省略可能

応答(Level\_ACK)

1 2 3 4 5 6 7 8      ->データ応答送信バイト  
- 1 . 2 3 4 CR LF      ->例1: 傾き値-1.234  
SP 0 . 0 0 8 CR LF      ->例2: 傾き値 0.008

### 温度データ

data RQ(Tmp\_RQ)

1 2 3 4 5 6 7      ->データ要求送信バイト  
0 3 R D T CR LF      ->データ内容

id1 id0

//IDは'00'の場合省略可能

応答(Tmp\_ACK)

1 2 3 4 5 6      ->データ応答送信バイト  
2 1 . 0 CR LF      ->例1: 温度21.0°C  
0 8 . 9 CR LF      ->例2: 温度 8.9°C